

攻撃陣不発

2試合連続ドロー

駒澤大学 0-0 流通経済大学

連続ドローという結果に肩を
落とす選手たち
(撮影：織原祥平)

4月23日 14:00 龍ヶ崎市陸上競技場たつのこフィールド

駒大 0 (0-0) 0 流経大

得点者 (アシスト)

KOMAZAWA	RYUTUKEIZAI
GK②輪島稜(3)	GK②オビ パウエルオピナ(1)
DF①初芝政弘(3)	DF②本村武揚(1)
DF④宮坂瑠(4)	DF③橋本直哉(4)
DF⑤星キョーワヱン(1)	DF④塚川孝輝(4)
DF②熱川徳政(3)	DF⑤守田英正(3)
MF⑥種岡岐将(4)	MF③尾寄鉄平(3)
MF⑩大場淳矢(2)	(66分⑩久保和己(2))
(68分⑧桑原智(4))	MF⑩桜井将司(4)
MF⑪金 大生(4)	MF②小池裕太(2)
(86分⑦大村英哉(3))	MF④原岡 翼(1)
MF⑧中原 輝(2)	(92分②相澤祥太(2))
FW⑩吉岡雅和(4)	FW⑩渡邊新太(3)
FW⑨大谷真史(4)	FW⑩ジャーメイン良(3)
(74分④小口大司(3))	S U B
S U B	GK②西岡佑馬(3)
GK②角井栄太郎(2)	DF⑩宮内雄希(3)
DF⑤鈴木啓晃(4)	MF⑥中谷航大(3)
DF④小川礼太(1)	MF②吉田 光(3)
MF④安藤 翼(2)	MF⑦金 永洙(3)
MANAGER	MANAGER
秋田浩一	古賀 聡

[シュート]2:9 [GK]11:9 [CK] 4:7 [直接FK]9:23
[間接FK]2:4 [主審] 宇治原拓也 [観衆]489人

警告(C) / 退場(S)

[駒]47 分大谷真史(c) [流]37 分桜井将司(c)
[駒]85 分金 大生(c) [流]78 分桜井将司(c)
[流]78 分桜井将司(cs)

決定機作れず、連続ドロー

開幕3節を1勝1分け1敗で終えリーグ戦4位につける駒大は、第4節、リーグ戦10位の流経大と対戦し0-0のスコアレスドローに終わった。

前半は駒大にとって厳しい展開となった。流経大が主導権を握り、素早いドリブル突破と、パスワークで好機を演出していく。駒大は流経大の攻撃陣に得点のチャンスこそ与えたものの、今期リーグ最少失点数に抑えているDF陣のプレッシングや、GK輪島稜(経3)のファインセーブなどで応戦。流経大からの計6本ものシュートを耐えしのぎ、前半を折り返す。

後半は、防戦一方に終始した駒大が盛り返す展開となる。ボールを保持する時間が増え、攻撃サッカーへと転じたのである。ところが、駒大伝統の戦法である縦へのロングパスを使ったサイドカウンター攻撃がうまく機能しない。駒大の唯一の決定機は後半70分に訪れた。CKから金大生(現4)が頭で合わせたのが、これはゴールポスト左側へそれていった。

結局両チームともゴールネットを揺らすことはなく試合は終了した。

試合後、秋田浩一監督は「今日は負けに近い引き分けだった。前半は動き出しが遅かったし、ボールを拾いにも行けなかったから決定的な場面を作られた。相手も攻撃が遅かったからその辺は助かった」と試合を振り返った。一方選手たちは、前後半合わせて2本のシュートにとどまった攻撃力のなさに危機感を募らせる。MFを務めた種岡岐将(文4)は、「もう1度チームを立て直して、奪ったボールを大切にサイドから攻撃する駒大サッカーをやって勝ちたい」と攻撃陣の復活を誓った。

リーグ戦は今節も引き分けたことにより6位に後退したものの、3位明治大との勝ち点差はわずかに2。次節国士舘大戦勝利に向け、着々と準備を進めている。

(柴崎拓見)